

品名 **増設モニター**

品番 **VL-V631K**

もくじ

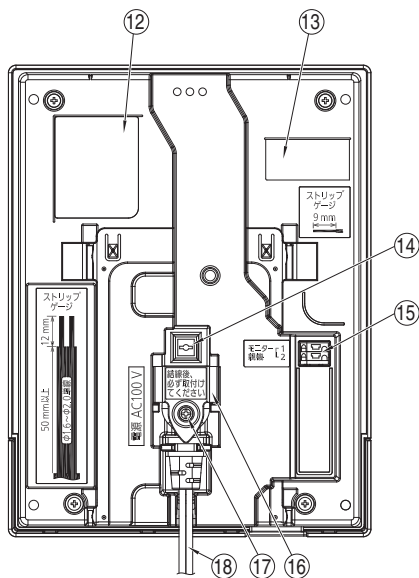
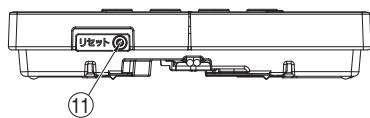
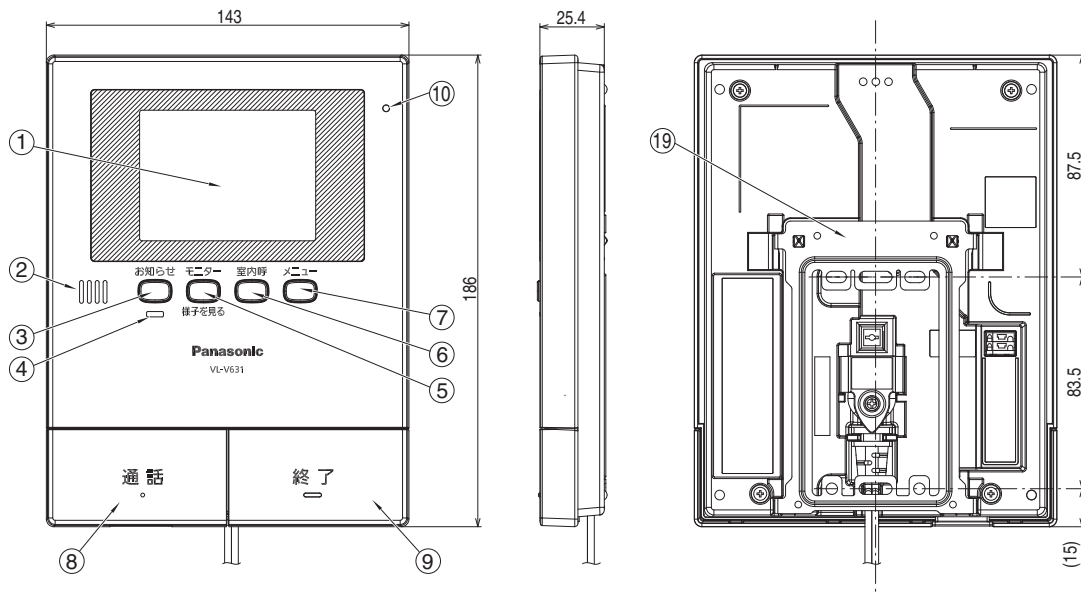
外形寸法図／付属品／仕様	2
・増設モニター VL-V631K	2
各部のなまえとはたらき	4
・増設モニター VL-V631K	4
増設のイメージ図	5
設置上のお願い	6
配線系統図／線種と配線距離について	8
本機の取り付け位置を決める	9
本機を取り付ける	10
・ドアホン親機で本機の接続設定をする	13
・正しく動作するか確認する	14

商品仕様書図	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	1/14

外形寸法図／付属品／仕様

増設モニター VL-V631K

単位 [mm]



番号	名称
①	液晶ディスプレイ
②	スピーカー
③	お知らせボタン
④	お知らせランプ
⑤	モニター(様子を見る)ボタン
⑥	室内呼ボタン
⑦	メニューボタン
⑧	通話ボタン
⑨	終了ボタン
⑩	マイク
⑪	リセットボタン
⑫	銘板
⑬	シリアルNo.ラベル
⑭	AC端子
⑮	DC端子(接続端子)
⑯	ACカバー(電源コードカバー)
⑰	ACカバー固定用ネジ
⑱	ACコード(電源コード)
⑲	壁掛け金具

●電源コードを外すと電源直結式になります。

■ 付属品

- 壁掛け金具 1個
- 壁掛け用木ねじ(4 mm×16 mm)..... 2個
- 壁掛け用小ねじ(4 mm×25 mm)..... 2個

外形寸法図／付属品／仕様 (増設モニター VL-V631K)	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	2/14

■仕 様

電 源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消 費 電 力	待ち受け時：約1.7 W、動作時：約4.5 W
外 形 寸 法	高さ 約186 mm × 幅 約143 mm × 奥行 約25.4 mm (突起部除く)
質 量	約450 g
使 用 環 境 条 件	周囲温度：0℃～+40℃、湿度：90%以下
画 面 表 示	3.5型TFT カラー液晶ディスプレイ
通 話 方 式	音声交互自動切替方式
取 付 方 法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
外 観 色 調	ホワイト
外 観 材 質	難燃性ABS樹脂(一部PS)

外形寸法図/付属品/仕様 (増設モニター VL-V631K)	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	3/14

各部のなまえとはたらき

増設モニター VL-V631K

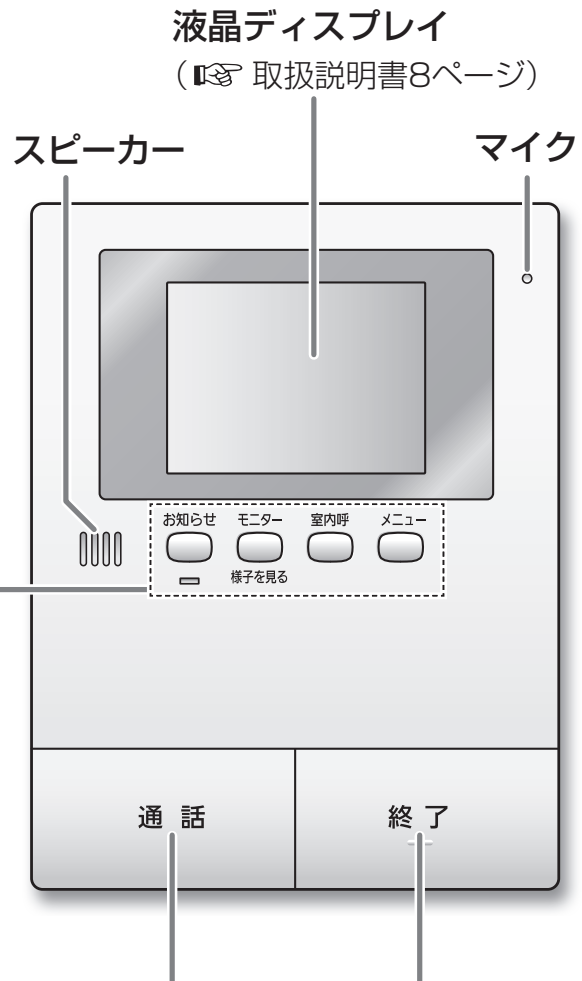
お知らせ ● 断線などでドアホン親機に接続できない場合に、画面表示やランプの点滅でお知らせする
 (取扱説明書 25ページ)

モニター ● ドアホン側の様子を見る
 (取扱説明書 11ページ)

室内呼 ● 室内通話をする
 (取扱説明書 15ページ)

メニュー ● 機能設定をする
 (取扱説明書 18ページ)

上記のほか、画面下部に表示された機能进行操作するときも使います。
 (取扱説明書8ページ)



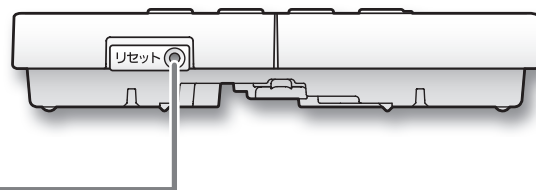
通話ボタン

- 来客と通話する

終了ボタン

- 情報表示画面を表示する
 (取扱説明書 9ページ)
- 通話などの操作を終わる

■下から見たとき



リセットスイッチ

- 動作がおかしいとき、先端の細いもので押して本機をリセット(再起動)する
 (登録した設定内容などは消えません)

各部のなまえとはたらき	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	4/14

増設のイメージ図

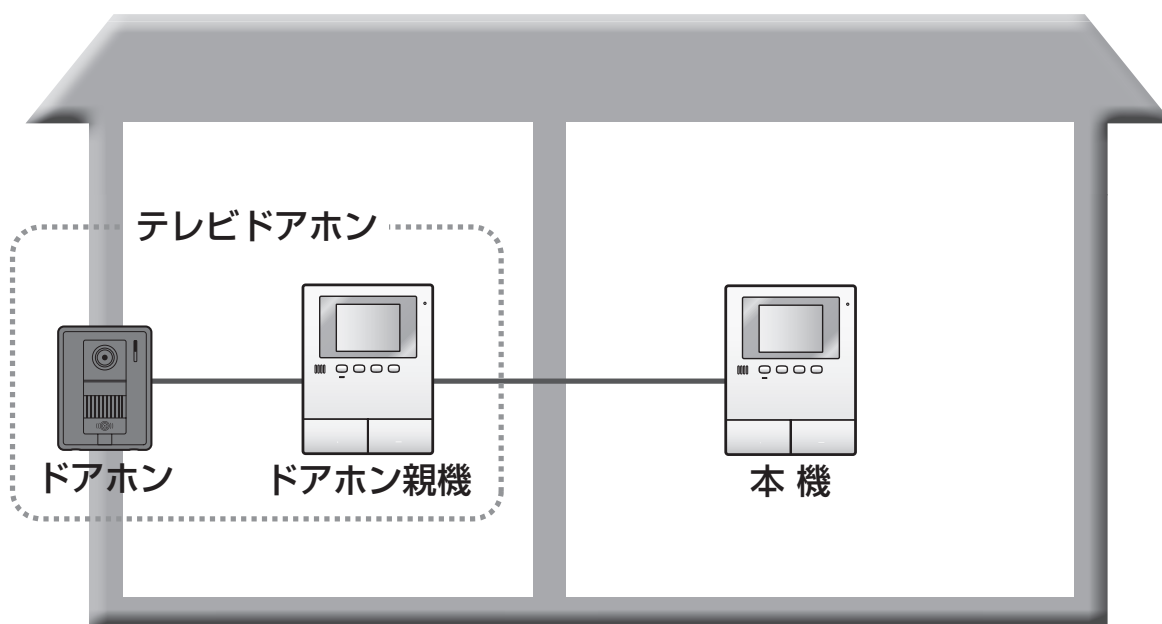
本機は、パナソニック製のテレビドアホンに接続して使える増設モニターです。
ご使用のテレビドアホンの取扱説明書とあわせてよくお読みください。

■ 増設できる機種(2012年8月現在)

品番：VL-SV35X、VL-SV36KL、VL-SV37KL
(増設できる機種は追加になることがあります)

■ 増設のイメージ図

本書では、各機器の名称をそれぞれ下記のように表記しています。



増設のイメージ図	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	5/14

設置上のお願い

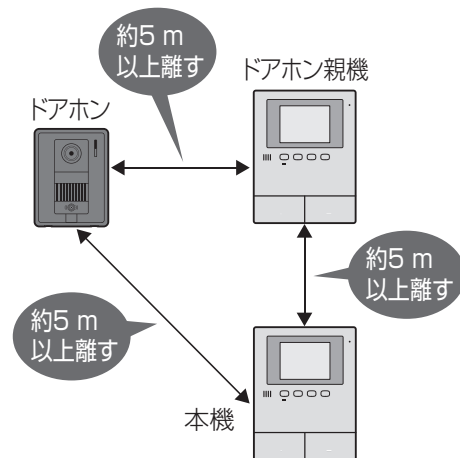
設置場所について

こんなところには設置しない (故障や動作障害などの原因になります)

- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ
- テレビ、電子レンジ、パソコンなどのOA機器、エアコンなどの近く

その他

- 本体の上下左右に20 cm以上の空間をとってください。また、壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。(誤動作や通話の途切れ防止)
- 本体を埋め込まないでください。
- ドアホンやドアホン親機との間は、右図のように離して設置してください。
- 強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。




設置上のお願い (設置場所について)	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	6/14

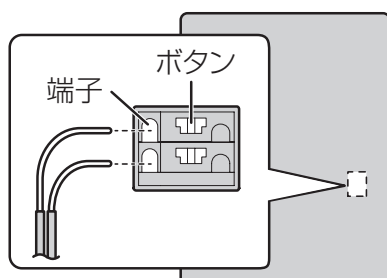
工事について

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。
 - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
 - (2) 3 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線2線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値(直流ループ抵抗)を測定のうち、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 V にて 1 MΩ 以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗 10 Ω 以内(配線距離 100 m以内で)

- 本機は電気設備技術基準による施工を行う。
 - ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁(電源線とその他の信号配線材の間)を設ける。
 - ・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
 - ・配線材はAC 600 V以上の絶縁電線を使用する。
- ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。
(金属管は必ず大地アースをすること)
- AC 100 V以上の電力線(電灯線)とは1 m以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。
- 本機の信号線接続端子は、速結端子になっているため以下の方法での結線を行う。
(接続できる線種などについては「 線種と配線距離について」)

<本機背面>



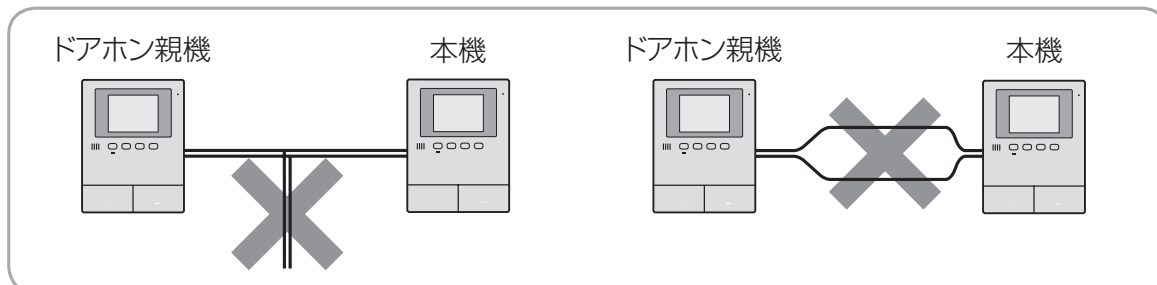
配線材を挿入する場合

- ・配線材の被ふくを9 mmむく。
- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を確実に端子に挿入する。

配線材を抜く場合

- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を引き抜く。

- ドアホン親機と本機間に不要な配線材があるときは、取り除くか新たに配線してください。また、下記のように配線材を分岐したり、極端にばらしたりしないでください。正常に動作しないことがあります。

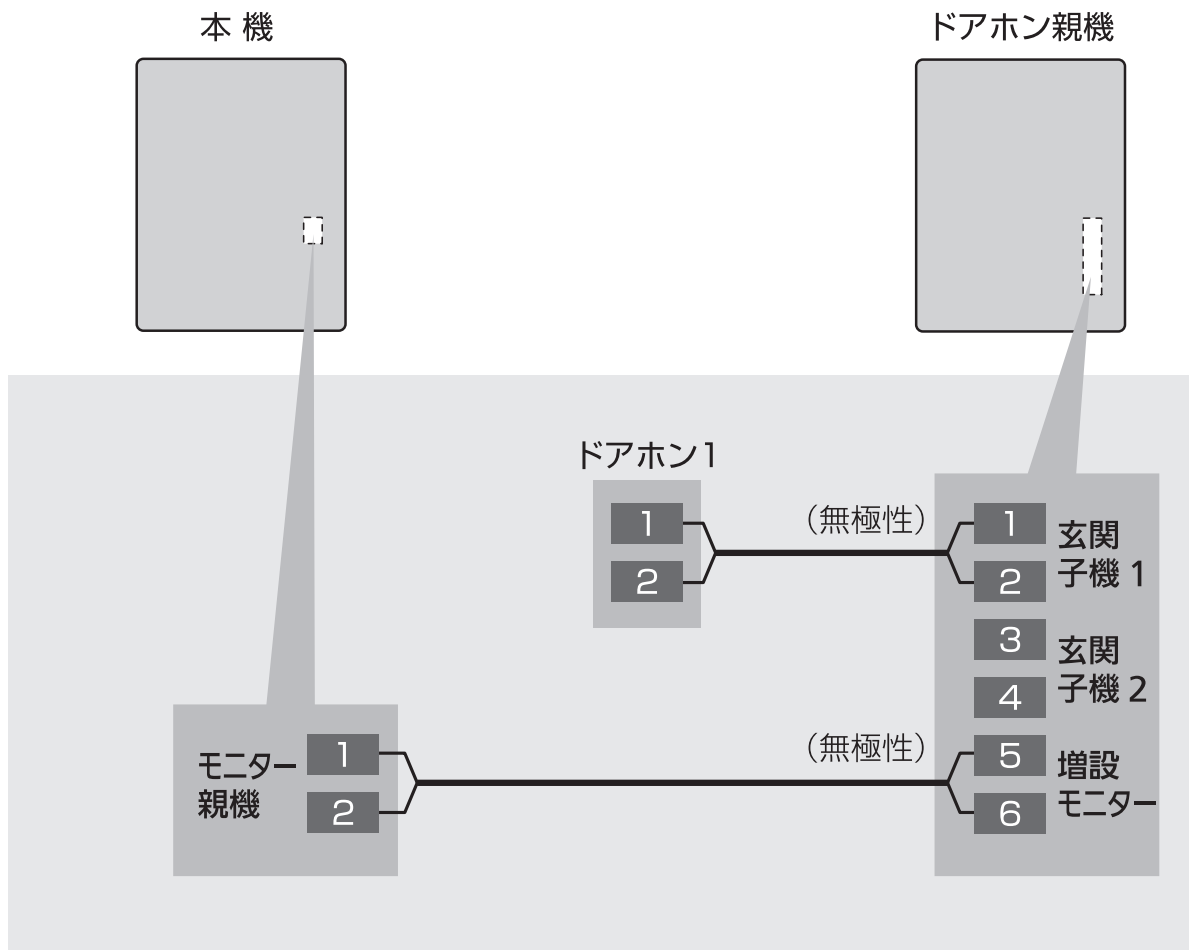


- 誤配線、ショートなどが無いことを確認後、本機の電源を入れる。

設置上のお願 (工事について)	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	7/14

配線系統図

よくご確認のうえ、正しく配線してください。



線種と配線距離について

(下表の記載以外で使用すると、動作不良の原因になります)

配線区間	線種	配線距離(総延長)
ドアホン ~ ドアホン親機 ~ 本機	インターホン用平行 2 線式ケーブル 単芯線(mm) : $\phi 0.65 \sim \phi 0.8$	100 m以内

配線系統図／線種と配線距離について

品名
作成

増設モニター

2012年8月

品番
変更

VL-V631K

年 月 8/14

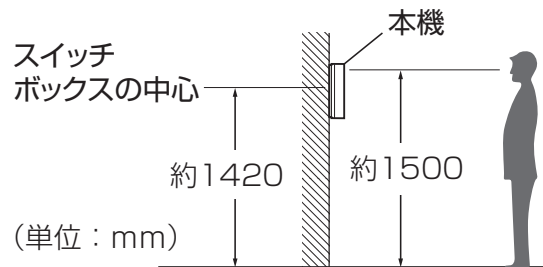
パナソニック システムネットワークス株式会社

本機の取り付け位置を決める

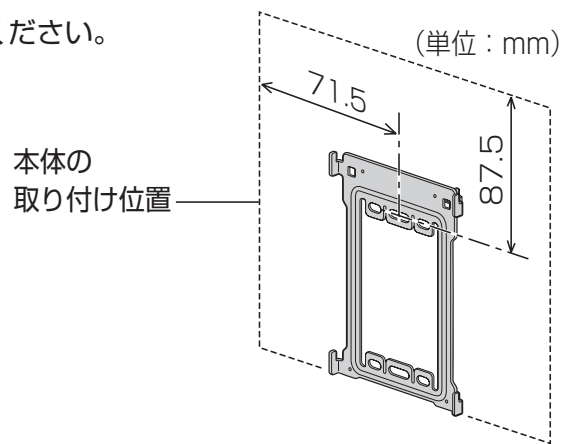
本体と壁掛け金具の取り付け位置

- 本体は、よくご利用になる方の目の高さに画面の中心がくるよう取り付けてください。

(例) 床から約1500 mmの高さに画面の中心がくるように取り付けるとき



- 本体の取り付け位置が決まったら、壁掛け金具は右図の位置に取り付けてください。

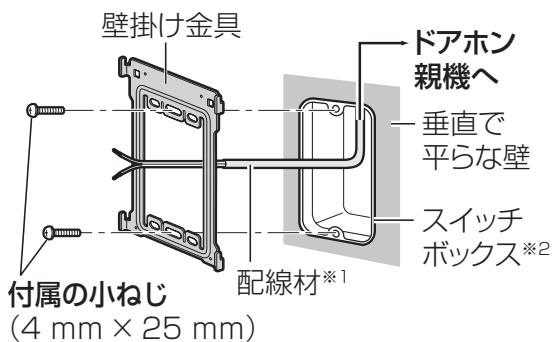


本機の取り付け位置を決める	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	9/14

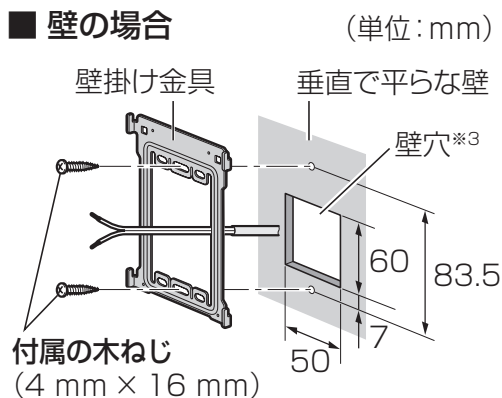
本機を取り付ける

1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



■ 壁の場合



※1 〈既設の配線を使用する場合〉

壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm²以上のより線」のときは、電源線(AC100 V など)の可能性があり
ます。工事は販売店にご相談ください。
(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)

※2 JIS 1 個用スイッチボックス(カバー付き)

- ・カバーなしには取り付けられません。
- ・電源線とその他の信号配線材などが混在する場合は、絶縁セパレーターを
取り付けてください。

※3 スイッチボックスを使用せずに壁の中から配線する場合に、壁穴を開けてください。

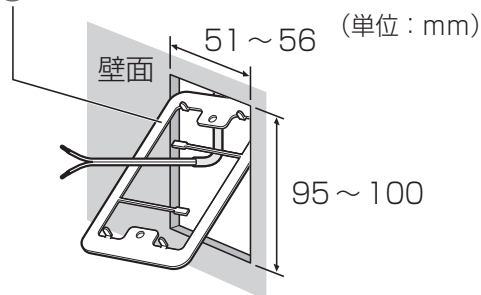
■ パネル壁(石こうボード)の場合

壁に下図のように穴を開け、脱落を防止するため、右記のはさみ金具を使
って取り付けてください。

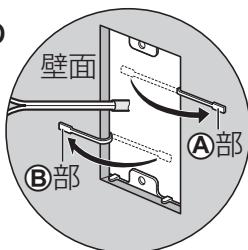
はさみ金具：パナソニック(株)製

品番	対象壁
WN3996020	9 mm～30 mm厚の 石こうボード

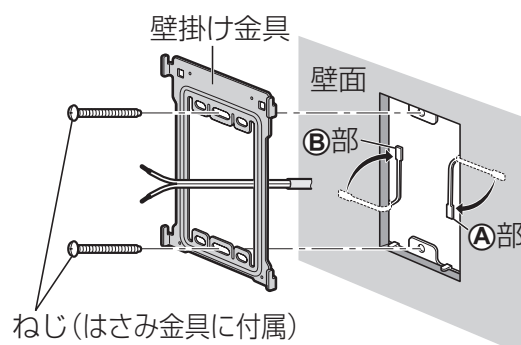
① はさみ金具を壁面の裏側に入れる



② ①部・②部を図の
ように折り曲げ、
はさみ金具を
壁面に仮固定する



③ 壁掛け金具とはさみ金具を、ねじで
仮止めする



④ ①部・②部を壁端面まで戻し、ねじを
締めて固定する

- ①部・②部を、壁掛け金具と壁面に
挟み込まないようにしてください。

本機を取り付ける	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	10/14

AC100 V 電源線を直結する場合のみ (電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください)

2 電源コードを取り外し、AC100 V電源線を接続する

〈本機背面〉

① カバーを取り外す

② ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す

③ AC100 V電源線を下記のように接続する

- 被ふくを12 mmむく
(線種:φ1.6~φ2.0単芯線)

- ドライバーの先などでボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む

〈AC100 V電源線接続端子断面図〉

⚠ 注意

奥まで確実に差し込む

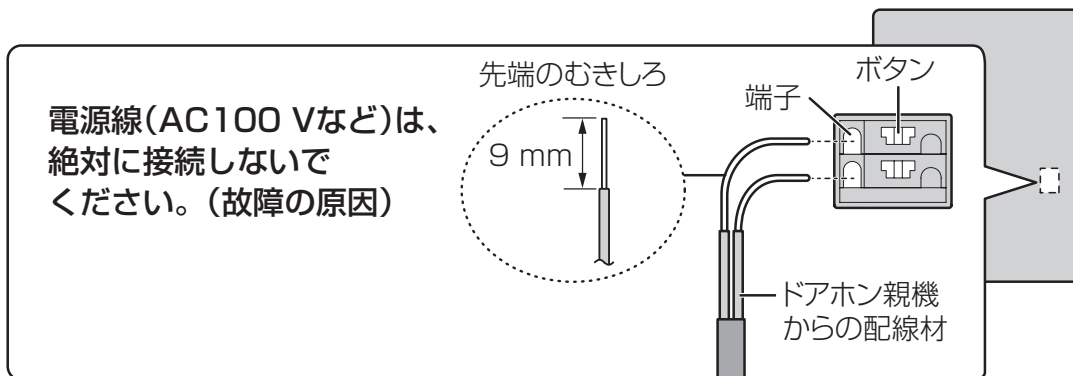
❗ 差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

④ カバーを取り付ける

本機を取り付ける	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	11/14

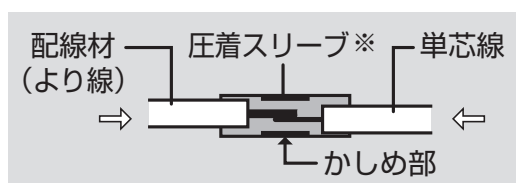
3 配線材を接続する

- 配線系統図(8ページ)に従って正しく接続してください。
- 配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながらかき差ししてください。



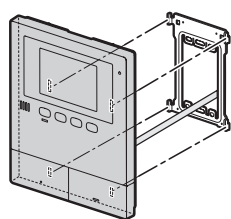
配線材の線種が「より線」の場合

- 端子に直接挿入するとき
被ふくを9 mmむき、先端をよった状態で、隣とのショートに注意してボタンを押しながらかき差ししてください。
- 単芯線と結線して使用するとき
結線部をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の単芯線(50 mm以上)と圧着スリーブで圧着処理を行ってください。
(結線部をよじっただけでは、接触不良になるおそれがあります)

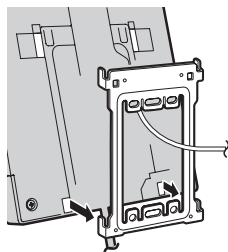


※手順4で、圧着スリーブを壁掛け金具に挟み込まないように注意してください。

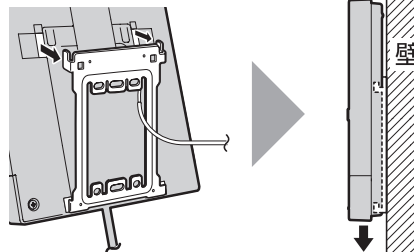
4 本機を取り付ける



① 金具の下のツメを本体の溝に合わせる



② 金具の上のツメを本体の溝に合わせ、本体を押し下げて固定する



5 [電源プラグで使用する場合のみ]

電源プラグのキャップを外して、コンセント(AC100 V)に差し込む

本機を取り付ける	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	12/14

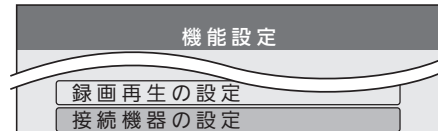
ドアホン親機で本機の接続設定をする

取り付け・接続が終わったら、ドアホン親機で必ず下記の設定を行ってください。
(設定が完了しないと本機が使えません)

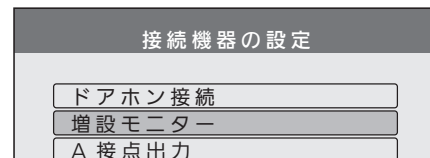
1 本機とドアホン親機の両方の電源が入っていることを確認する

2 ドアホン親機で設定を行う

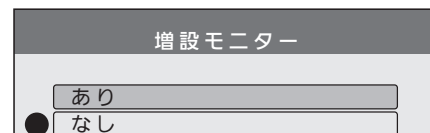
- ① ^{メニュー} を押し、^{モニター} (▼) で[接続機器の設定]を選ぶ



- ② ^{メニュー} (決定) を押し、^{モニター} (▼) で[増設モニター]を選ぶ



- ③ ^{メニュー} (決定) を押し、^{モニター} (▼) で[あり]を選ぶ



- ④ ^{メニュー} (決定) を押す

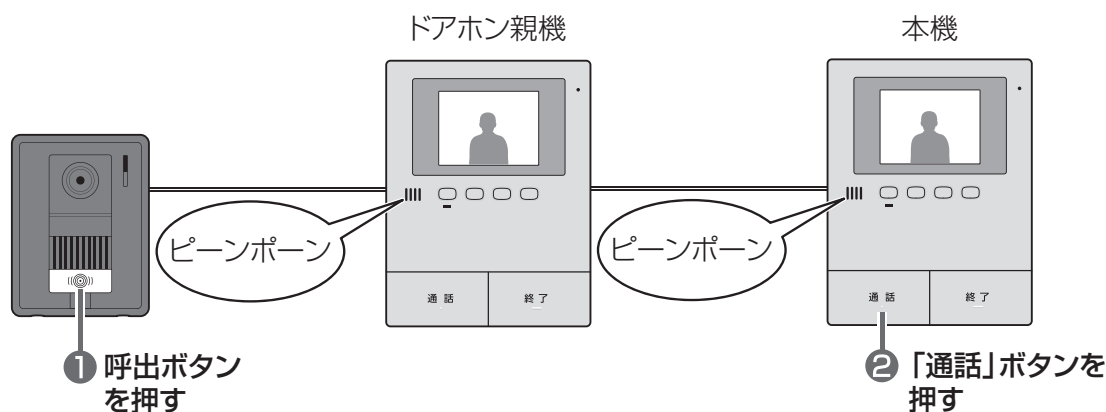
- ⑤ 終わったら、 を押す

ドアホン親機で本機の接続設定をする	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	13/14

正しく動作するか確認する

接続設定後、下記の手順で動作を確認してください。

- ① ドアホンの呼出ボタンを押し、ドアホン親機と本機の両方で呼出音が鳴り、映像が映ることを確認する
- ② 本機の「通話」ボタンを押し、ドアホンと通話できることを確認する
 - 確認が終わったら、本機の「終了」ボタンを押す



本機やドアホン親機が動作しないとき

正しく配線されていない可能性があります。次のことを確認してください。

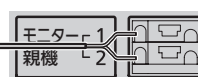
- ドアホン側、ドアホン親機側、本機側の端子に、それぞれ配線材が確実に接続されていますか？
- 正しく接続したのにドアホン親機や本機が鳴らない場合、壁内での配線に異常がある可能性があります。下記の手順で、確認してください。
 - ① いったんドアホンと本機を外してドアホン親機の近くに持っていく
 - ・ ドアホン親機は正しく動作し、本機だけが動作しない場合は、本機だけを外してドアホン親機の近くに持っていく
 - ② 短い配線材などを使って右図のように直接つなぐ
 - ③ 再度、動作を確認する
 - ➔ 正常に動作すれば、壁内の配線に問題があります。配線を確認してください。

ドアホン(背面)

ドアホン親機(背面)



本機(背面)



正しく動作するか確認する	品名	増設モニター	品番	VL-V631K	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	14/14